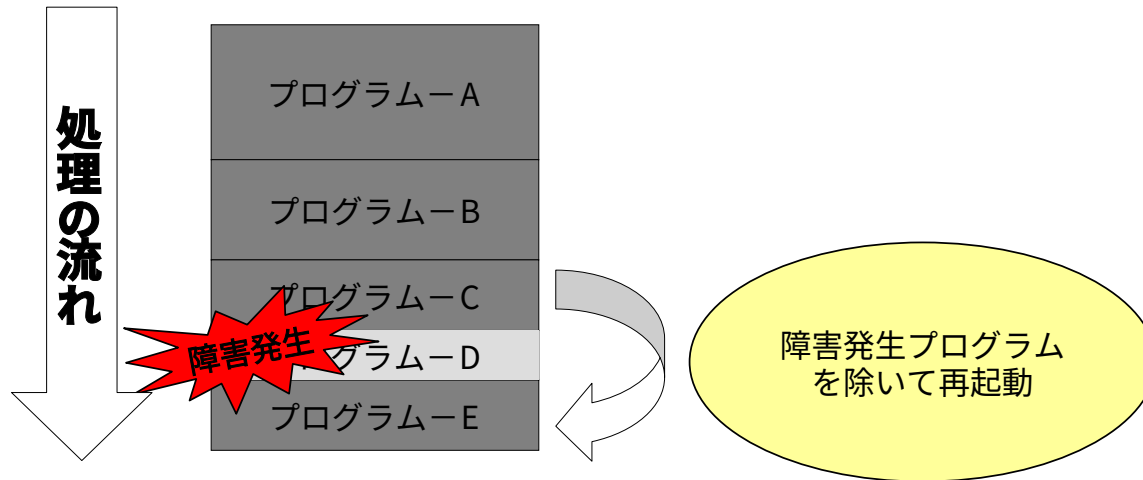


タスクリスタート機能の拡充

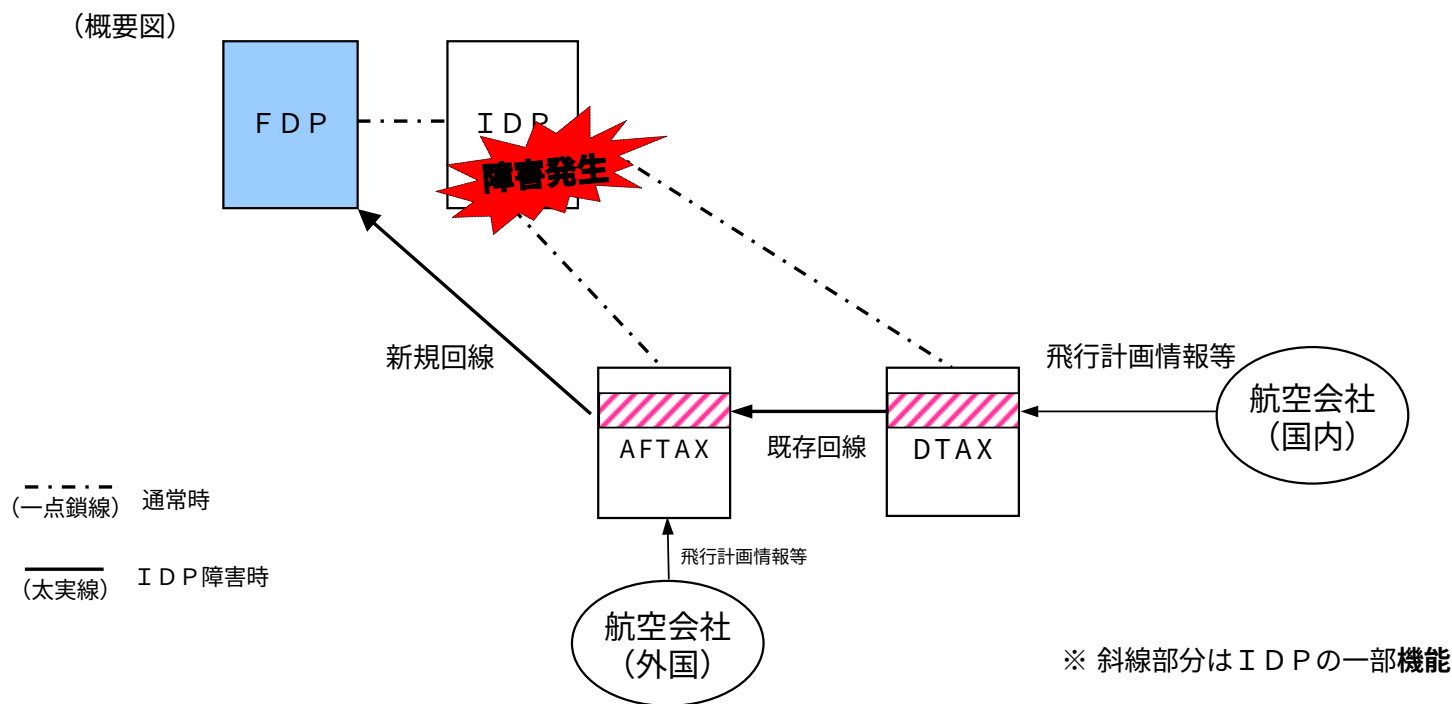
業務処理プログラムのうちタスクリスタート機能（不具合のあるプログラムをパスして運用を継続する機能）の対象となっていないプログラム（オンライン統計処理、ターミナル統計処理、タイムサーチ処理（ストリップ統計））をタスクリスタート機能の対象とする。



※ 一部の機能のみ停止するが
システム障害には至らない

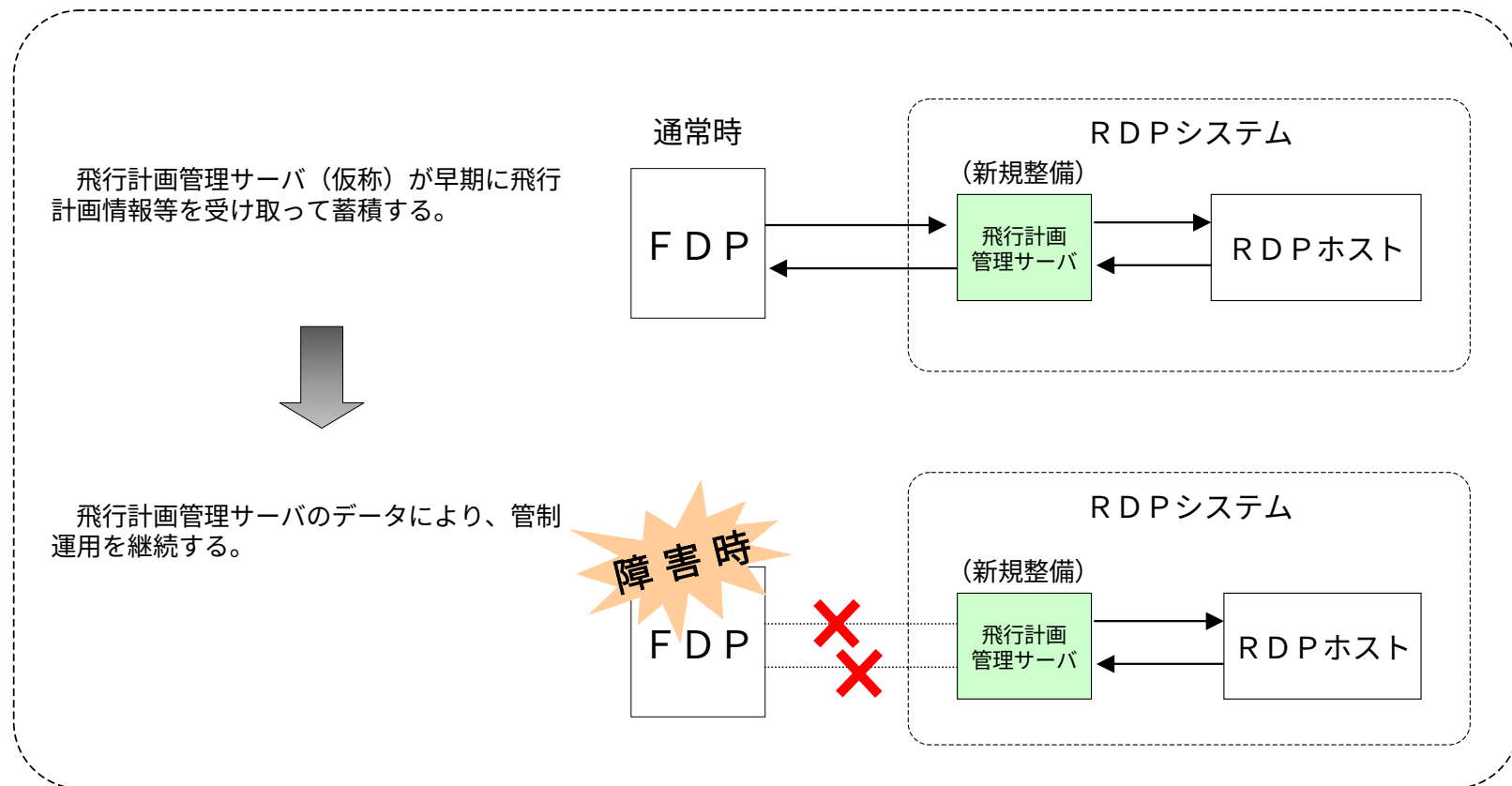
I D P のフェイルセーフの改善

I D P（入力監査システム）に障害が発生した場合、飛行計画情報等が F D P へ送られない。このような状況に対処するため、下図の方法により飛行計画情報等を F D P に送り、管制業務の継続を図る。



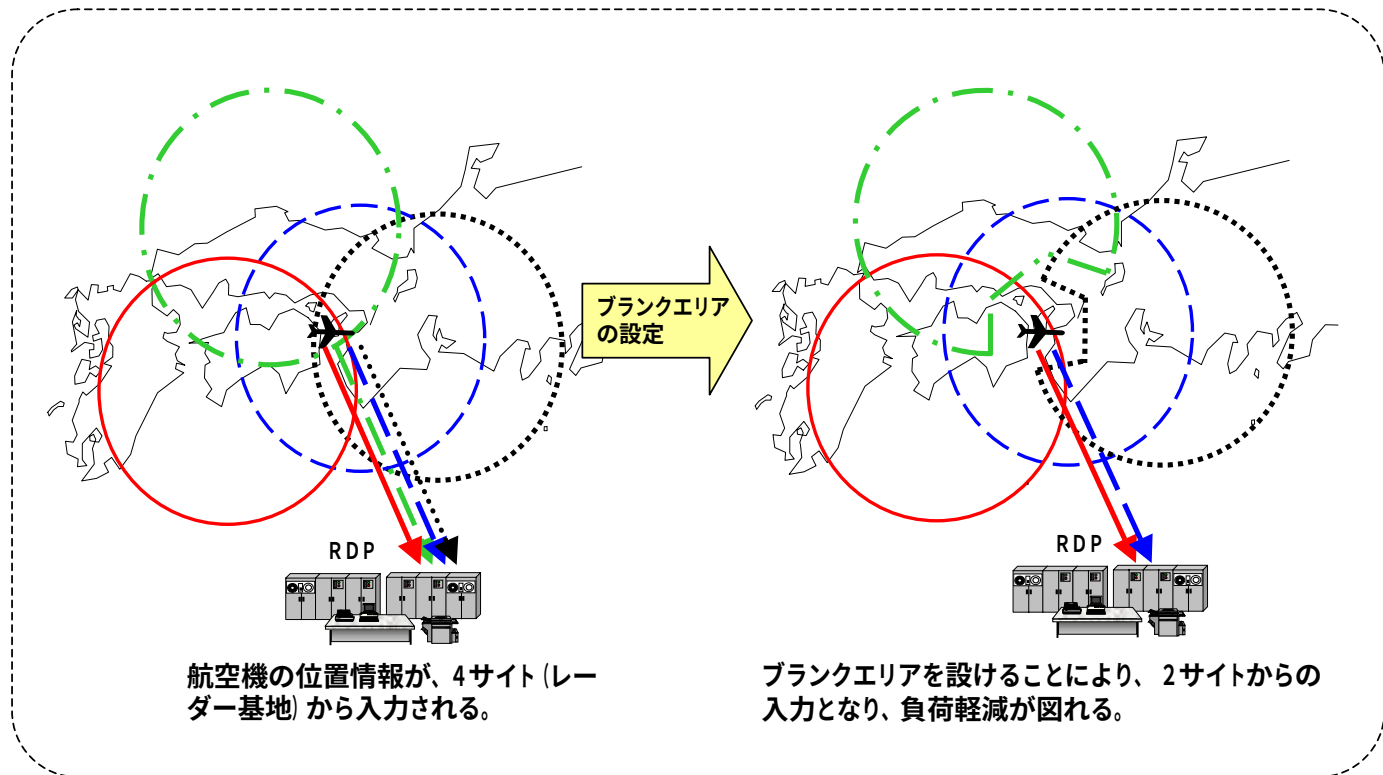
RDPのフェイルセーフの改善

FDPのシステム障害が生じて、航空路管制に使用するRDP（航空路レーダー情報処理システム）に蓄積した飛行計画情報等により、航空機の運航に影響を与えることなく運用を継続することができる。



RDP の処理負荷軽減

RDPにおいて、複数のレーダーが重なっている領域で管制運用上影響の無い領域をブランクエリア (情報の処理を行わない) 化することにより、CPU (中央処理装置) の処理負荷の軽減を図る。



FDPリカバリ機能の改善

新バージョンのプログラムから旧バージョンのプログラムに戻した場合、システムダウン前の状態をそのまま引き継ぐために必要なリカバリデータを旧バージョンのプログラムでも使用できるようにする。

